

Pch ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより
第217号

ななえ古写真物語

VOL.217

冬のハッ橋

謎の建造物

大正時代後半～昭和初期

大沼公園



今から約18年前に発行したピチャリ第5号でも紹介しているハッ橋ですが、上の写真は、ほぼ同じ場所から撮影されたものと思われます。ただ異なるのは季節で、湖面を覆う氷、後背に聳える山々（おそらくは吉野山と横津岳か）に雪が積っている様子から、冬に撮影されたものでしょう。

ハッ橋は、大正7年には架けられていたと考えられることと、左下に押印されている青函連絡船、翔鳳丸が、大正11年に起工されたことから、乗船記念スタンプの日付は、昭和3年6月16日だと推察できます。よってこの写真 자체の撮影年代は、大まかですが、大正後半から昭和初期と考えられます。

この「趣味乃大沼」という袋入り絵葉書には、ほかにも、同じ日付のスタンプが押されたものが見られることから、お土産に購入した絵葉書をもって、青函連絡船翔鳳丸に乗船し、押印したのではないかと想像できます。

ところで、この写真ですが、冬に撮影されたということもあり、周囲の木々は落葉しているため、対岸にいくつかの建物の存在があることに気づきます。ピチャリ第5号では、その存在すら知りえなかったこれらの建物が、何なのか気になりました。まず、対岸右側にある東屋のようなものは、現在も花をさかせる藤棚だということは、簡単にわかりました。

そして、その右側には、2～3階建ての入母屋屋根と思われる建物が見えます。おそらく、位置的に考えると見晴館という旅館と考えられますが、心なしかピチャリ第162号で紹介した同旅館と比べると、屋根の構造は似ていますが、階数が合わないようにも見えます。もしかしたら、小高い場所に建てられていたのかもしれません。

また、左奥へと続くハッ橋の先にある木々の奥には、一段小高くなった所に2階建てと思われる建物が見られます。画像が不鮮明なため、1棟か2棟か判別が難しいのですが、仮に2棟が並んでいるとすれば、位置的に大沼館と盛武蔵という旅館と考えられます。この並びに紅葉館という旅館もあったので、そちらの可能性も否めませんが、おそらく違うと思われます。

ここまででは、これまで調べた文献や写真などから、おおよその想像が出来たのですが、あらたな謎が発生しました。それは、写真中央となる対岸の低い所にも、複数の建物が見られるということです。横長な屋根が段違いに2つあるように見えるのですが、これらが一体何なのか皆目見当がつきません。ビアホールがあったという手書きの地図もありますが、建物の数が合わず、謎は深まるばかり、何かを紹介しようとすると新たな謎が生まれる。そんな1枚の紹介でした。

3日 藤城小学校さんの見学

藤城小学校3年生のみなさんが、昔の七飯と道具について学びに来てくれました。自分たちの住む、藤城地区の歴史を説明すると、真剣に耳を傾ける様子から、関心の高さが伺えます。昔の道具の説明では、踏み鋤に触れ、使い方も学びました。また、七飯ではじめて作られたものである、りんご、さくらんぼ、チーズは、特にチーズが意外だったようでした。他にも箱枕や火のしなどの道具は、イラストを使い、よりわかりやすい解説を心がけました。今は使われなくなった道具から、新たな学びにつながれば良いなあと思います。



18日 夜の博物館後期講座第1夜

第1夜は「ななえ古写真物語」と題し、毎月発行している歴史館だより「ピチャリ」に使用されている古写真や絵葉書30点ほどを、より深く掘り下げて、お話ししました。ガラス乾板やフィルムカメラで撮影されたものでも、拡大すると、細部まで見ることができるので、一枚の写真からわかることが増えていきます。いまは存在しない建物の写真も、受講者の思い出に残っていることが多く、時間を超えて、まだまだ教えてくれることの多さに気づきました。



27日 ジュニア探検クラブ

年の瀬に行うプログラムは「そば打ちに挑戦！」です。初めてそばを食べる子もいるなか、そば打ちの講師にお迎えしたお二人が、子どもたちに寄り添い、丁寧に教えてくださいました。作ったのは、二ハそば。余ったそば粉で、そばがきも作りました。もうひとつ行ったのは、ぶんぶんごま作り。道具を使い、きれいに色塗りし、オリジナルのこまのできあがり。回すコツもすぐに覚え、シンプルな遊びでも、楽しそうに回す姿が微笑ましく感じました。



編集後記 ~tawagoto~

新たな年を迎えると、なんとなくより良い計画や高い目標をたてた方が良いのでは、と感じてしまうのですが、展示を作ったり、資料の保存や管理においては、当たり前の積み重ねも、大切なことのひとつだと思います。館内の巡回から気づくことや、他館の展示から、自館でもできることを探す、独立系書店から、陳列方法を学ぶ。心がけていることは、「学ぶ眼」をあきらめないこと。本年も足を運んでくださるお客様に感謝して、一步前へ。

2月の予定

1	日	特別展「聖山」開催中
2	月	休館日
3	火	
4	水	
5	木	夜の博物館第3夜
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	休館日
10	火	
11	水	建国記念日
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	特別展最終日
16	月	休館日
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	ピチャリ第218号発行
21	土	
22	日	
23	月	天皇誕生日
24	火	休館日
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	

※休館日：2日、9日、16日、24日

シンベ

爪掛けのついた草履のこと。しべは、わらしべのことを言います。先端をスリッパのように折り曲げて、作られています。名称はシベが訛ってシンベになったとか。



Pichari

～ピチャリ～

第217号

令和8年（2026年）1月20日発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail : rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp